

川崎市フットサルリーグ要項(募集要項)

1. 大会名 川崎市フットサルリーグ 2026
2. 主催 特定非営利活動法人 川崎市サッカー協会
3. 主管 川崎市サッカー協会フットサル委員会
4. 期間 2026年4月～2027年2月
2026年 4/18(土)、5/16(土)、6/13(土)、7/11(土)、8/22(土)、9/22(火祝)、
10/24(土)、11/14(土)、12/19(土) 2027年 1/23(土)、2/27(土)
天候等でやむを得ず開催できない場合は、原則、年度内に限り、日程を順延する。
2027年 3/27(土)、3/28(日)は、トーナメント大会を開催予定。
5. 会場 川崎市宮前スポーツセンター (川崎市宮前区犬蔵1-10-3)
※会場への問い合わせはご遠慮ください。
6. 募集チーム数 最大 11 チーム
原則、前年度参加チームを優先し、応募多数の場合は先着順とする。
【参考】前年度参加チーム (トーナメント大会を含む)
(1) ALGEMMA、(2) なんでやねん、(3) 油少なめ、(4) FC 旭、(5) カムシ FC、(6) Buzz Funny、
(7) Rexva、(8) los cluza (9) IKUSAGA FC、(10) Viajante S.I.F.C.、(11) FCコスタ川崎
7. 参加資格
 - ① チーム内に責任を負うことができる 20 歳以上の指導者が最低 1 名いること。
(チームの登録選手・役員に 1 名以上の川崎市内の在住、在勤者がいることが望ましい)
チームに所属する選手・役員は高校生以上で構成されていれば、男女の性別は問わない。
 - ② リスペクトおよびフェアプレーの精神を持ち、競技規則や施設のルール等を遵守すること。
 - ③ 他の主催大会への参加を理由とした棄権は認めず、原則、開催期間の大会に参加できること。
やむを得ず参加できない試合ができてしまった場合、試合前日までに、フットサル委員会に連絡すること。事前連絡なく、参加チームが試合を放棄した場合、その試合は放棄チームの不戦敗とし、その措置は規律委員会(※フットサル委員会内に設置)で決定する。
 - ④ 登録選手・役員数は、選手は最大 30 名(外国人選手の登録は制限しない)、役員は最大 4 名とする。
随時追加登録を認めるが、出場選手・役員に未登録、二重登録等の違反が判明した場合、その試合は違反チームの不戦敗とし、その後の措置は、規律委員会で決定する。
 - ⑤ 参加チームは、傷害保険(スポーツ安全保険等)に加入していること。
8. 競技形式 ※参加チーム数が一定数に満たない場合、競技形式の一部変更もあり得る。
 - ① 参加チーム総当りによるリーグ戦を行い、年間順位を決定する。
(※チーム数が定数に満たない場合は、競技形式の変更もあり得る)
 - ② 年間順位の決定方法は、勝点が多いチームを上位とし、順位を決定する。
勝点は、勝ち 3 点、引分け 1 点、負け 0 点とする。
ただし、勝点が同点の場合は、以下の順序によって順位を決定する。
 - イ) 当該チーム間における直接の対戦成績
 - ロ) 当該チーム間の得失点差
 - ハ) 当該チーム間の総得点数二) 下記の計算による警告、退場のポイントが少ないチーム

イエローカード1枚	1ポイント
イエローカード2枚によるレッドカード	3ポイント
レッドカード1枚	3ポイント
イエローカード1枚に続くレッドカード	4ポイント

ホ) 当該チーム間での抽選※「当該チーム」とは、勝点が同点となったチームを意味する。

- ③ あるチームの帰責によって試合開催が不能または中止となった場合（不戦敗を含む）、そのチームは0対3で敗戦したものとみなす。なお、放棄試合であった場合、その対戦チームには勝点3点、不戦敗チームに勝点▲1点とする。また、不測の事態により、本大会の全試合消化出来ない状況になった場合、フットサル委員会が定める既定数の試合を消化していれば、その時点での順位を最終の年間順位とする。

9. 競技会規定

本大会第1節の試合開始時に適用ある日本サッカー協会「フットサル競技規則」による。

（本大会の期間内における競技会規定の変更は行わない）

以下の項目については、本大会の競技会規定を定め、上記の競技規則に優先して適用させる。

- ① ピッチ 原則、40m×20m（ただし、会場所定のサイズを優先する）

- ② ボール 日本サッカー協会検定球（4号球）を使用する。

試合球は、フットサル委員会が準備する。

- ③ 競技者の数

イ) 交代要員の数：14名以内

ロ) ベンチに入ることができる人数：役員を含め、14名以内

ハ) ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：制限しない

- ④ 競技者の用具

イ) ユニフォーム

フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、正・副2着のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ソックス）を必ず携帯すること。また、アンダーシャツ、アンダーショーツ・タイツを着用する場合、チーム内で統一されていれば、競技規則で定める色と別の色（黒、白等）を使用することを認めるが、着用するか否かは、各出場選手の判断に任せる。

また、選手番号はワッペン等の貼付けも可とするが、その他は日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則る。

ロ) シューズ

靴底は接地面が鉛色、白色または無色透明のフットサルシューズのみ使用可能とする。

（スパイクシューズ・着色ノンマーキングシューズについては認めない）

ハ) ビブス

交代要員は、競技者と異なる色のビブス（これを同等のもの）を用意し、着用する。

- ⑤ 試合時間

60分間（各ピリオド30分間）のランニングタイム（最後1分間はプレーイングタイム）とする。

ハーフタイムのインターバルは5分間とする。なお、ハーフタイムにおいて、各チームはベンチを交代しない。

- ⑥ 試合開始（第1ピリオドのキックオフ時）に、最小3人の競技者がピッチ上にいる状況において、試合開始前に提出されたメンバー表に記載された登録選手が不在の場合、その選手の対応は以下の通りとする。役員も同様の対応とする。

イ) 試合開始後に、ピッチに到着した場合

その選手は、当該試合の第1ピリオドには出場できない。ただし、主審・第2審判の承認を得た上で、ベンチに入ることは認めるが、その場合、競技者と交代要員と区別できる服装を着用しなければならない。

ロ) 試合開始後から第2ピリオド開始前までの間に、ピッチに到着した場合

その選手は、第2ピリオドのキックオフまでに、主審・第2審判の承認を得た上で、第2ピリオド開始時から当該試合に出場することができ、ベンチに入ることもできる。

ハ) 第2ピリオドのキックオフ後に、ピッチに到着した場合

その選手は当該試合に出場することはできず、ベンチに入ることもできない。

10. 懲戒罰

- ① 本大会の期間中に警告を累積3枚受けた選手は、次の1試合に出場できない。

- ② 本大会の期間中に退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置は、日本サッカー協会「懲罰規定」に則り、規律委員会で決定する。

③ 懲戒罰の累積は、本大会以外の試合には持ち越さない。

11. 審判、オフィシャル等

- ① 審判は、フットサル委員会より主審・第2審判を派遣する。なお、本大会においては、その他の審判員（第3審判、タイムキーパー等）は任命しない。
- ② タイムキーパー・記録・ボールパーソン及び駐車場係（計4名）は割当てに従い、各参加チームが担当する。また、ゴール・ベンチ・記録席等は、第1試合のチームが設置し、最終試合のチームが撤収する。なお、設置・撤収を怠ったチームの処置は、規律委員会で決定する。

12. 参加費

- ① 協会登録費等 20,000 円（正会員費 5,000 円、協会登録費 15,000 円）
 - ② リーグ参加費 100,000 円（各チーム 10 試合を予定。また、トーナメント大会参加費を含む）
- 不慮の事由で本大会が中止になった場合も、原則、参加費の返金を行わない。

13. 代表者会議

会議は開催しない。疑問、意見はメール等にて連絡、集約の上、フットサル委員会が決定する。
また、抽選はフットサル委員会に一任する。

14. 参加費振込期日・振込口座

後日、各参加チームに連絡する。

期日までに参加費の振込が確認できない場合、本大会への参加を認めないことがある。

15. 参加申込先、問い合わせ先

川崎市サッカー協会フットサル委員 中野 豊

Eメール① : futsal.kawasaki@gmail.com

Eメール② : yutaka_nf4@outlook.jp

16. その他

- ① 試合中の事故・負傷、会場内の器物破損等については、当該チームの責任において処置する。
- ② 試合中の事故・負傷、会場内の器物破損等について、主催者は免責される。
- ③ 参加チームは、会場施設所定のルールを順守すること。なお、所属選手・役員が会場施設所定のルールを守らなかった場合（ごみの持ち帰りなど）、その後の処置は、規律委員会で決定する。